スキーのまち鹿角

全国中学校スキー大会

男子スラローム：廣嶋 渓介（けいすけ）選手（十和田）

仲間と共に喜び、
時には悔しがり。
熱戦の中に、こだまする熱き想い。
各々の思いを込めて、
鹿角の地で頂点を目指した―。

第55回全国中学校スキー大会が2月8日から11日まで花輪スキー場で開催されました。地元選手の活躍や大会を支えた中学生の様子を紹介します。

鹿角で栄光の軌跡を

開会式は2月8日、文化の杜交流館コモッセで行われました。

児玉市長は「この大会で選手間の交流を深め、一生の思い出となるよう念願します」と挨拶しました。開催地の中学生代表として、花輪第一中学校生徒会長の児玉幸斗（ゆきと）さんが「全国で活躍する皆さんの競技を、地元の中学生一同楽しみにしています。選手の皆さんが最高のパフォーマンスができるように精一杯サポートしていきます」と歓迎しました。

最後に、865人の選手を代表して、八幡平中学校の畠山侑也（ゆうや）選手が「これまで支えてくださった方々に感謝し、中学生らしくゴールを目指し競技することを誓います」と力強く選手宣誓をしました。

1畠山侑也選手による選手宣誓 2花輪第一中学校の児玉生徒会長が選手らを歓迎 3児玉市長が鹿角で交流を深めてほしいと挨拶 4会場に詰め掛けた選手ら

競技結果（本市の入賞選手）

クロスカントリー 男子5キロ（クラシカル）
10位　畠山侑也（八幡平）

クロスカントリー 男子5キロ（フリー）
4位　畠山侑也（八幡平）

スペシャルジャンプ
5位　阿部寿音（尾去沢）

※掲載写真は提供します。ご希望の方は、政策企画課（☎30-0205）までお問い合わせください。

1伊藤玲央（れお）選手（十和田）2川又大朗（ひろお）選手（花輪第一）3 5位入賞を果たした阿部寿音（じゅのん）選手（尾去沢）4多くの声援が選手に送られました。5畠山香恋（かれん）選手（八幡平）6阿部未歩（みほ）選手（八幡平）7 2位入賞を果たした秋田県（男子リレー）8優勝を飾った秋田県（女子リレー）9児玉聖凪（せいな）選手（花輪第二）

全国の舞台で輝く鹿角勢の活躍

長野県勢と北海道勢が各種目で上位を占め強さを見せる中、秋田県勢はクロスカントリー女子リレーで優勝を飾り、男子も2位になるなどの健闘で会場を沸かせました。

本市選手も奮闘し、畠山侑也（ゆうや）選手（八幡平）はクロスカントリークラシカルで10位入賞、フリーで4位入賞を果たしました。また、スペシャルジャンプでは阿部寿音（じゅのん）選手（尾去沢）が5位に入賞するなどの活躍を見せました。

地元中学生の活躍が成功に導きました

大会を盛り上げようと、開会式では中学生スタッフが式典の進行や会場案内、花輪ばやしの演奏を行い、競技会場では、鹿角の特産品を使ったオリジナル商品の販売や清掃活動、のぼり旗設置などで選手らをもてなしていました。

中でも広報紙「冬囃子（ふゆばやし）」には、大会結果の速報に加え、入賞選手の声などが盛り込まれており、会場内でも話題になっていました。

中学生の若さあふれる活躍は、「スキーのまち鹿角」のビックイベントを成功へと導きました。